

一 読み

/12

二 画数

/4

三 送りがな

/5

四 熟語の構成

/5

五 部首

/4

六 対義語

/5

七 書き取り

/14

合計

/49

合格のめやす

35問(7割)

一 線の漢字の読みを、ひらがなで書きましょう。

① へやを清潔にする。

せいけつ

② 学校の規則をまもる。

きそく

③ 三時におやつをたべる。

さんじ

④ かぜで学校を欠席した。

けっせき

⑤ 漢字の訓読みをおぼえる。

くんよみ

⑥ ねる前に昔話を読んでもらう。

むかしばなし

⑦ 児童かんで本をよむ。

じどう

⑧ 医師になるゆめがある。

いし

⑨ ここはちゅう車禁止だ。

きんし

⑩ そのことばに、みんな名案だと言った。

めいあん

⑪ 川の岸で小さな花を見つけた。

きし

⑫ 公園の中央に大きな木がある。

ちゅうおう

二 次の漢字は、何画で書きますか。数字で書きましょう。

① 愛

13

画

② 制

8

画

③ 災

7

画

④ 眼

11

画

三

——線のことばを、漢字一字と送りがなで書きましょう。

れい

くるまがとまる。

止まる

① このお茶はあつい。

熱い

② とおくから音がきこえる。

聞こえる

③ もうすぐ夏休みがはじまる。

始まる

④ いすからたつ。

立つ

⑤ 期待にこたえる。

応える

四

次の熟語の組み立ては、「」の「ア」「イ」のどれにあたりますか。記号で書きましょう。

ア 同じような意味の漢字を組み合わせたもの(れい 岩石)

イ 反対や対になる意味の漢字を組み合わせたもの(れい 左右)

ウ 上の漢字が下の漢字をくわしくしているもの(れい 青空)

エ 下の漢字が「ゝを」「ゝに」にあたるもの(れい 読書)

① 貸借

イ

② 寄付

ア

③ 防火

エ

④ 旧友

ウ

⑤ 良心

ウ

五

部首がつく漢字を□に書きましょう。□の右は読みです。

れい

イ
(にんべん)

休

む

シ

(さんずい)

①

液

えき

体

②

演

えん

じる

才

(てへん)

③

技

ぎ

術

④

招

まね

く

六

反対の意味の言葉を、「」からえらんで漢字で書きましょう。

れい

大きい ⇄ 小さい

「ちよくせつ さいしよ ていか ぞうか せんそう」

①

向上 ⇄

低

下

②

間接 ⇄

直

接

③

最後 ⇄

最

初

④

平和 ⇄

戦

争

⑤

減少 ⇄

増

加

七

——線のことばを、漢字で書きましよう。

① れきしを学ぶ。

歴史

② じぶんの力でしようめいする。

証明

③ きんいろのメダルをもらった。

金

④ きようはいいてんきです。

天気

⑤ ふゆになるとさむくなる。

冬

⑥ とりが大きなねをひろげる。

羽

⑦ よるにつきがでている。

月

⑧ あたたかいスープをのんだ。

温

⑨ くじびきでいっとうが当たった。

一等

⑩ ゆうがたになると空が赤くなる。

夕方

⑪ ふとい木のみきにさわる。

太

⑫ 話のいみをりかいする。

理解

⑬ 木の上でとりがないている。

鳥

⑭ 町でじけんがおきた。

事件

